

木を伐らない林業

株式会社中川

【住所】〒646-0023 和歌山県田辺市文里2丁目32番7号 【TEL】 0739-33-9850
 【URL】 <http://nakagawa-forestry.com/>

活動概要

緩和分野

取組の概要

2016年8月に創業し『木を伐らない林業』を提唱し、育林に特化した林業を行っている。地域産ドングリを育苗した広葉樹苗木を植林することで、植林による遺伝子攪乱リスクの低減、地域での貨幣の循環、獣との共存、30年後に紀州備長炭の原木として利用（地場産業の継続性の担保）、広葉樹は伐採後の萌芽更新で持続可能な収穫ができる。花粉症対策、CO₂固定にも効果的。

気候変動対策としての貢献度

2016年から継続して植林活動を行う事で自社管理山林で223haの植林を行い、推定1,030トンのCO₂を毎年吸収中。地域で拾えるカシ類のドングリを活用し苗木を作り植えることで郷土樹種を保全し伐採後も萌芽更新され、伐採後に再造林をしなくても持続可能な山の再生が可能。地域と連携し苗作りをすることで、ドングリを通じて山の再生の意義や大切さを伝え、林業を持続可能な産業へと転換中。また、カシ類は製炭業で利用され、製品化しても炭として炭素をしっかりと固定。

期待される波及効果

今までの林業は針葉樹植栽による建築用材及びバイオマス工場での発電利用等が主流だったが、植栽後も永続的な手入れが必要な針葉樹植栽は人口減少が進む日本では持続可能にならない可能性がある。広葉樹であれば、植栽後の手入れが針葉樹に比べて少なく、伐採後も萌芽更新により自然と再生される。ドングリという身近にあるものが脱炭素の導入となり、地域内で価値を見直し、環境に興味を持つ若い世代を作ることが出来る。

刷新的要素

広葉樹苗木生産を地域と一緒にを行い、市民全体の森林への興味を高めて自社の仕事を確保し、林業における働き方改革及び大型ドローンの開発導入で従業員を確保、安定的に再造林を実行。地域産ドングリ苗木を植えることで、郷土樹種の保護、CO₂吸収、獣との共存、持続可能な林業、伝統産業の継承、里山再生、花粉症対策等様々な効果が得られる。自社の研修生や従業員が起業することで9都県に7社起業し、面的な活動として普及中。

今後の計画、持続的な展開の展望

47都道府県に起業者を創出することで、自由に移住しながら働ける環境を作り、より幸福度の高い生活を提供し日本全国で労働力の向上に比例したCO₂削減効果を目指す。里山から離れた場所にいる人をドングリで関係人口として繋ぎ、育てた苗を実際に植樹に来てもらえる交流人口として植樹によりCO₂固定ができることを自分事にしていきたいと考えている。



運搬用ドローンを使用した植栽資材運搬



植栽完了現場